

かわいくてアイロニックな「からくりおもちゃ」が大集合



イギリスからくりおもちゃ展

ポール・スプーナーと英国現代のオートマタ



①



②



③



④

機械仕掛けで自動で動くからくりおもちゃ。ヨーロッパではオートマタと呼ばれ、18世紀中頃から19世紀にかけて流行しました。技術工芸品としてだけでなく、美術品としての評価も高く、現在に至るまで幅広く愛好されています。

本展では、現代のオートマタ作家の先駆者であるイギリスのポール・スプーナー、マット・スミス、キース・ニューステッドの作品を中心に、約70点の「からくりおもちゃ」とそのデザイン画や、からくりの仕組みがわかる機構模型など、合わせて約120点を紹介いたします。

作品の多くは実際に動く姿を見ることができます。ひとつの歯車を回すことでさまざまな動きを生み出すからくりおもちゃたちは、コミカルでアイロニックな表情によって、小さなストーリーをつくり出します。奥深くて面白い、からくりワールドをお楽しみください。



⑤

⑥

⑦

出品作家の紹介

ポール・スプーナー | Paul Spooner



1948年イギリス、ランカスター生まれ。幼少の頃から機械に興味を持ち、ランカスター芸術大学、カーディフ芸術大学、ゴールドスミス・カレッジ等で学んだ後、代表作《アスビス》を発表。世界中のオートマタ作家をはじめ、多くの人々に影響を与え、現代オートマタを代表する作家として知られている。

マット・スミス | Matt Smith



1965年イギリス生まれ。エンジニアを志していたが、ファルマス芸術大学で美術を学ぶかたわら、1980年からオートマタ作家として活動を始める。1986年にポール・スプーナーとともに「Fourteen Balls Toy Co.」を設立。作品の多くはポール・スプーナーとともに共同で制作している。

キース・ニューステッド | Keith Newstead



1956年イギリス生まれ。エセックス大学でグラフィックデザインを学んだ後、フィンランドに移り、グラフィックデザイナーとして活躍。帰国後は、ロンドンでジュエリーデザイナーとして働いたかわら、バイク便を10年続けたユニークな経歴の持ち主。特異な才能とスタイリッシュな表現力で高い評価を得ている。

会期中のイベント

ギャラリー・ツアー

4月28日(土)、5月19日(土)、6月2日(土)

各日 14:00 ~ 15:00

担当学芸員が展覧会をご案内します。申込不要、無料(要観覧券)。

【図版】① マット・スミス《シークレット》2013年 | ② ポール・スプーナー & マット・スミス《最後のドーデー鳥》1998年 | ③ ポール・スプーナー & マット・スミス《釘打は難しい》1993年 | ④ キース・ニューステッド《イカルス》制作年不詳 | ⑤ ポール・スプーナー & マット・スミス《スパゲティを食べる男》1999年 | ⑥ ポール・スプーナー & マット・スミス《アスビスの手品》1998年 | ⑦ ポール・スプーナー & マット・スミス《傷ついたミルク》1994年 |



ホームページ
http://t-artforum.net



※お車でお越しの際は、狂銀タクト鶴岡、公園中央駐車場が最寄です(無料)



TSURUOKA ART FORUM

鶴岡アートフォーラム

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町 13-3
TEL: 0235-29-0260 (代表) FAX: 0235-22-6051
E-mail: info@t-artforum.net URL: http://www.t-artforum.net